

ま え が き

本書は、広島大学地域経済研究センターと地域経済研究推進協議会の主催で、平成7年1月の19日と20日の両日、広島県民文化センターにおいて「瀬戸内地域の将来発展と課題」をテーマに開催しました第6回研究集会の報告書です。

今回の研究集会も、例年の通り2日間にわたって開催しました。初日は、基調講演とパネル討論会を行い、2日目は、中国および四国地域を代表する6つの民間シンクタンクから、地域経済に関する研究をご報告頂きました。

本センターが今年度掲げました共通テーマは「瀬戸内海」です。その第1回のシンポジウムは、昨年8月11日に「瀬戸内交流圏の形成と地域振興」をテーマとして、そして第2回のシンポジウムは、12月8日に「瀬戸内海の利用と海上交通」をテーマに開催しました。

今回の研究集会ではこうした2回のシンポジウムの成果を受けて、瀬戸内海地域の発展についてご討議を頂きました。研究集会の初日には、村上水軍の活躍を生き生きと描く小説『虹と落日』で有名な作家原田八束氏に基調講演をお願いし、村上水軍の歴史を語って頂きました。その後のパネル討論会で、こうした歴史的背景をもつ瀬戸内地域の持続的発展について、岡山大学阿部宏史助教授、香川大学井原健雄教授、いよぎん地域経済研究センター正岡啓調査部長、それに山口大学吉村弘教授によるご議論を賜りました。

研究集会の2日目は、中国地方を代表する5つの民間シンクタンク、それに四国地方の代表的なシンクタンクである(株)いよぎん地域経済研究センターから、地域経済に関する研究をご報告頂き、それぞれ予定討論者と活発なご討論を賜りました。こうした機会を重ねることによって、大学と民間のシンクタンクの交流が進み、地域経済研究のネットワークができてつつあるように思います。

地域の皆様方のご協力により、研究集会には初日165名、2日目60名に上る多数の方

々のご参加を賜り、極めて有意義な成果をあげることができました。

本書を作成するにあたり、基調講演をお願いした原田八束氏、パネル討論のパネリスト、座長、研究報告者および討論者の方々、その他関係各位のご協力に深く御礼申し上げます。

平成7年11月

広島大学経済学部附属
地域経済研究センター長 櫟 本 功